

3. 「本能学区の地区計画」

(1) 本能学区の概況

本能学区の位置と地域の概況

本能学区は、京都の都心部に位置する地域です。このあたりは、良質な地下水を活用し、京染の生産地として発展してきました。地域には、京染をはじめ様々な伝統産業の職人が住まいし、京の暮らしを支えるものづくりや商いがされてきました。

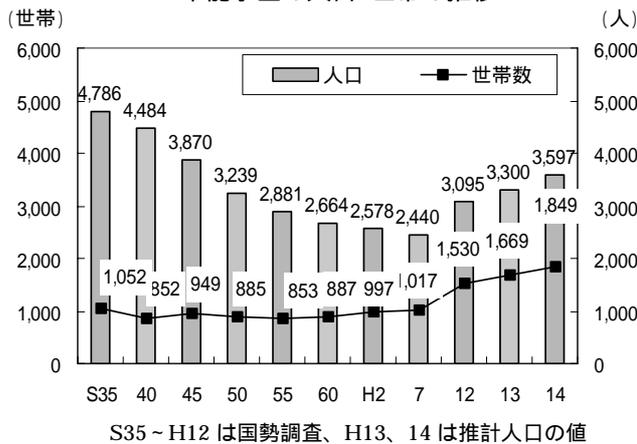
職と住（仕事と住まい）が一体化した暮らしのなかで、住民間のおつきあいが深まり、自治連合会や各種団体などによる地域活動が活発に展開されています。

近年、和装産業の活力低下などにより地域の経済力が低下し、京染などの工場が無くなった跡地に共同住宅が建設されるなど、まちの変化が急激に進みつつあります。

本能学区のデータ

- ・ 本能学区は、近年、人口や世帯数が増加傾向にあります。
- ・ 京染は多くの工程からなりますが、本能学区にはその殆どがあります。

本能学区の人口・世帯の推移



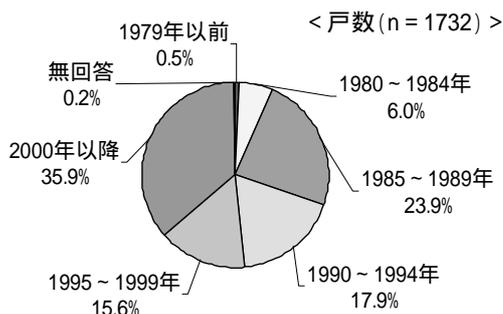
京染の業種別件数

白生地問屋	5	蒸・水元・水洗	0
京染卸	24	金彩	3
染つぶし問屋	9	刺繍	5
前売問屋	19	湯熨斗・張整理	11
工芸染匠	12	補正	18
京都友禅	3	仮工バ	1
誂友禅	2	脱色・洗張	1
黒染	7	仕立て	8
色染	17	紋糊置	2
印染	10	紋洗い	1
下絵	1	紋上絵	9
糸目・伏糊置	3	縫紋章	3
挿友禅	5	その他の加工	4
引染(色・黒)	3	小売店	4

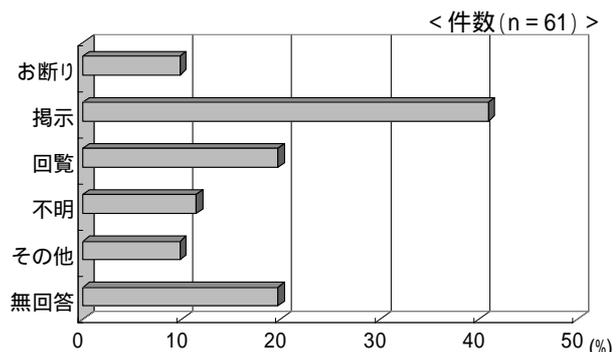
(平成12年10月現在)

- ・ 近年共同住宅の建設が増えており、2000年以降の供給戸数が35.9%を占めています。
- ・ 共同住宅の場合、配布物や回覧板はホール等に掲示しているだけの場合が多く、情報が伝わりにくいことから、地域の活動などを知らず、参加しない人が多くなるといった課題があります。

建築時期別供給戸数



回覧板・配布物の掲示状況



マンション実態調査(本能まちづくり委員会調査 平成13年8月現在)

(2) 本能学区の地区計画の方針

地区計画名称

本能元学区地区 地区計画

位置

京都市中京区柳水町，池須町，古西町，蟻螂山町，猩々町，元本能寺町，三条油小路町，六角油小路町，山田町，藤本町，藤西町，橋浦町，壺屋町，四坊堀川町，錦堀川町，塩屋町，橋東詰町，本能寺町，越後町，越後突抜町，元本能寺南町，亀屋町，空也町及び三文字町の24ヶ町

面積

約 19.7ha

地区計画の目標

当地区は，本能寺の旧跡をはじめ，数多くの歴史的・文化的な資産を有する地区である。また，昔から今日に至るまで京染に関わる職人が多く住む地域であり，職のつながりを基礎にした住民間の交流が豊かで，活発な地域コミュニティが形成され，職と住が共存する市街地を形成している。

当地区では，「住みたいまち，育てたいまち，働きたいまち，本能」の実現を目指したまちづくりを進めており，今後ともこのまちづくりの進展を図る。このため，職と住が共存し，地域の資源である「染め」の文化・技術を現代の魅力として活かしながら，住民間のおつきあいを大切にした交流豊かなまちの形成を図り，子どもから高齢者まで多世代が暮らしやすい開かれた地域社会の実現を目指すことを，将来にわたる地区計画の目標として定める。

土地利用の方針

当地区を細区分して，それぞれ次の方針により地域の特性に配慮した土地利用を誘導する。

職住共存地区（堀川通沿道地区，三条通沿道地区以外の区域）

商工の賑わいの継承と，地域でのコミュニケーションが豊かな住環境の維持・発展により，まちなみに配慮した都心活力の源となる職住共存の多様な土地利用を誘導する。

三条通沿道地区

三条通の魅力と賑わいを継承し，人々が交流できる空間の形成を図るため，沿道建築物の低層階には店舗の導入を促進する。

堀川通沿道地区

職住共存地区の住環境の維持に配慮しながら，都心にふさわしい都市機能の集積を図る。

地区施設の整備の方針

良好な市街地環境を形成するため，既存の公共施設（道路，公園など）を有効に生かし，歩行者の安全性・快適性や細街路における自動車交通の抑制に配慮した魅力ある施設整備を図る。

また，商店の集積があり，人や車の往来の多い三条通の安全性と賑わいを高めるため，歩車共存の道づくりを進める。

建築物等の整備の方針

落ち着いたある居住環境の保全のため，相隣関係や景観に配慮した建築物とするとともに，地域社会と調和のとれた用途の建築物とする。

共同住宅においては，居住者の地域活動への参加・協力や，共同住宅の適正な管理を促進するとともに，地域での住民間のコミュニケーションに配慮した建物配置・建物構造や交流空間の確保に努める。

その他当該地区の整備，開発又は保全に関する方針

地区の防災・防火・防犯能力を高めるため，防火水槽や防犯灯等の設備の整備や地域コミュニティの強化を進める。

また，緑豊かな潤いある地域環境の形成のため，敷地内における緑化を進める。